

# 中部標準化懇話会 2024年度 第1回標準化活用勉強会

開催日 2024年8月2日(金) 13:30~17:00

会場 日本規格協会 名古屋支部 セミナールーム

講師 花崎 雅彦 氏

テーマ 基本統計量・正規分布・バラつきとは・バラつきの実例

参加者 5名

作成者 日本規格協会 セミナー事務局

講義内容

- ・平均・範囲・分散・標準偏差の復習
- ・ヒストグラムの手書き作成
- ・Excel データ分析ツールを用いた基本統計量の算出およびヒストグラムの作成
- ・工程能力指数(Cp,Cpk)の算出方法の復習

報告記 講義は、平均・範囲・分散・標準偏差などの統計を扱う上では、避けては通れない用語の復習から始まった。普段の講義とは違い、今回は、少人数形式で進められたこともあり、受講生の理解度に応じて、講義が行われた。

普段は、ヒストグラムの作成もそんなに時間は取れないが、今回は、時間をとって、区間の幅を求めたうえで、ヒストグラムを作成した。また、講義内では、Excel のデータ分析ツールを使って、平均・最大値・最小値・分散・標準偏差などを算出する方法を学んだうえで、各々PCを用いて、実践した。

参加した受講生の多くは、Excel でも統計量の計算ができるということを知らなかった方も多く、受講生にとっては有意義なものになったようだ。

また、講義後半では、工程能力指数(Cp,Cpk)の算出方法の復習も行った。

また、講義内では、10秒カウントゲームを用いて、平均値がよくても、バラツキ(範囲)が大きいと、再現性が低く、データの信憑性が落ちるなど、本質的なところも理解できたのではないと思う。

当日の受講生のなかには、QC検定3級に受験予定の方、日本規格協会(JSA)で実施している、JIS品質管理責任者セミナーを受講している方もおり、試験対策やセミナーのよい復習の機会になったのではないだろうか。

今回の講義では、基本統計量の算出でのみExcelを使ったが、そのほかにも、一元/二元配置分散分析、各種検定、相関分析、単回帰/重回帰分析など、様々な場面でExcelの活用可能である。

今回の勉強会をきっかけに、Excelの有用性について少しでも感じる機会になると良いと感じた。